

教えて! 市立病院

〈第94回〉

ひかりかんしょうだんそうけいけっかんぞうえい

光干渉断層計血管造影検査 (OCTangiography)

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450



〈今月のドクター〉

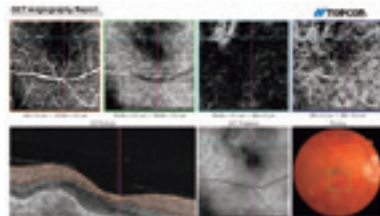
眼科部長
たかみや みちこ
高宮美智子 医師

令和2年1月に購入した新しい光干渉断層計を紹介します。眼の一番底にある黄斑部は焦点を合わせる場所で、人はこの部位で色や文字を認識します。光干渉断層計は、黄斑部の構造を病理学的に知ることができる器械です。これは瞳孔から光を当てることで眼球の内部の構造を見ることができ

のです。以前の装置には、血管を撮影する機能はありませんでしたが、この新しい器械では血管を撮影できます。普通は血管に造影剤を注入して眼底を撮影するのですが、新しい器械は造影剤無しで血管を撮影できます。まだこの機能は発達途上で欠点もあります。黄斑部中心の10度ぐらいの範囲しか撮影できないこと、血流の動きが分からないこと、血管の漏れが分からないことなどの欠点がありますが、新生血管の形態を直接観察できます。造影検査とあわせて、黄斑部の病気の診断と治療に使います。



器械の全容



加齢黄斑変性症患者の
OCTangiography